

# 番組審議会

## 第680回

2024年3月18日

### ■ 審議会の構成

委員総数 10名  
委員長 音 好 宏  
副委員長 江 澤 佐知子  
委 員 尾 縣 貢 萱 野 稔 人  
喜田村 洋 一 佐 藤 智 恵  
洞 口 依 子 長 嶋 有  
水無田 気 流 目加田 説 子

TBSテレビ 佐々木 社 長  
龍 宝 取締役  
井 田 取締役  
三 城 コンテンツ戦略局長  
米 田 報道局長  
荒 井 報道局編集部長  
ドウトレイ 番組プロデューサー  
中 田 編成考査局長  
菊 カスタマーサクセス部長  
市 川 番組審議会事務局長

### ■ 議事概要

#### (1) 審議事項

1) 「東日本大震災13年Nスタ つなぐ、つながるSP～いのち～」

3月10日(日) 15:00～16:24放送分について

2) その他

(2) 報告事項

- 1) 2024年度上期の編成方針
- 2) 「TBSグループ 人権ウィーク」について

(3) 事務局報告事項

- 1) 視聴者からの声について
- 2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】（「東日本大震災13年NスタSP」について）

- 13年目のスペシャルというものに対して非常に高く評価する。
- 番組のテーマ「つなぐ、つながる」ことの大切さを改めて感じた。  
ホラン千秋さん、井上アナは落ち着いていてコメントも思慮深くて好感が持てた。
- 災害対策への科学の導入を取り上げようとしている点は注目すべきであるが、大学や研究所レベルで進んでいても、具体的な対策として国民に、特に災害弱者である高齢者にどう伝えるかはテレビの役割だと思う。
- 今後サイエンス系のパートは開発者の視点でなく、避難する人の視点で作るともう少し自分事として捉えられるのではないか。
- 被災者の言葉、経験者の言葉を拾うのは本当に細やかな注意が必要で、番組制作者の力量がとても問われる番組だと感じられた。今回、一人一人の被災者を非常に丁寧に伝えていて敬意が感じられた。
- 2015年以降交流があるガザの若者と釜石市については、どういう理由で友好関係を築いたのかの説明が欲しかった。

□福島県浪江町からのライブ映像、小学校の場所、当日の映像は何度見ても胸が熱くなった。

□震災を語り継ぐ仕事、語り部をしている方々が数多く登場し、さらに富田望生さんと町田啓太さんのナレーションは、若い人に震災を語り継ぐ上で非常に効果的で震災報道番組を続ける意義も示された。

□番組の作り手側の熱意は伝わるが、トピックの本数をちょっと減らして、一つ一つをもう少し掘り下げた方が全体が見えたのではないか。

□風評被害を伝えることが風評被害を生み出してしまうこともある中、断固とした根拠をもうちょっと示して、福島の漁業者を応援できるような内容だともっとよかったと感じた。

□多くの方々に記憶の整理をして、苦しかった記憶に対しても希望を見出せる番組だったと思う。特にあったこと（ファクト）を今（リアル）にうまくつなげていることが秀逸だったと思う。

□「つなぐ、つながる」は着実につながっているということを実感できるのでぜひ後世につなげて行ってほしいと思う。

TBSテレビでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。（番組審議会事務局）